

開講日	2016年春期 木曜日 18:30-20:00	講義場所	研究棟11階講義室A
コースディレクター	名古屋市立大学大学院医学研究科 地域医療教育学 特任教授 赤津 裕康		

※4月23日の講義は土曜日開講となり、名古屋市医師会後援の特別講義(開催場所:病院3階大ホール)です。

科目概要 および 期待される 成果	【概要】昨年度に引き続き将来的な医療体制に対応できる素養を身に着けることを目的とする。本年の特徴は健康寿命の延伸のための医療、介護における基礎知識はもとより、広く法的・人権的視点や栄養にも目を向け、広く地域社会・社会体制を高い視点より鳥瞰し自ら考え地域で展開できる力を身に着けるために各方面からの講師を依頼した。 【期待される成果】来るべき社会変化に対応できる柔軟な発想と幅広い知識、広く高い視点を身に着け地域、職場でリーダー的存在として活躍できる素養を身に着ける。		
目標とする 資格	医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネージャー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、社会福祉士、介護福祉士、神経心理士、保険行政官、		

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
L-1	1	高齢者の人権と地域・在宅医療	国内でも有数の医療訴訟を手掛け、常に患者の立場から医療現場へ問題提起をされている弁護士から高齢者の人権、在宅医療・介護での問題点を法律家の見地よりお話しいただく。	4月14日	弁護士 加藤 良夫 栄法律事務所
L-2	2	名古屋市における高齢者施策	名古屋市における高齢福祉行政の現状と来るべく超高齢社会に向けた取り組みについてお話しいただく。	4月21日	部長 松雄 俊憲 名古屋市健康福祉局高齢福祉部
L-4 【特別講義/ 名古屋市医師会 後援】	4	長崎在宅Dr ネット	医師会を中心に地域で連携がとれている長崎市、認定NPO長崎在宅Dr.ネットより医師をお招きして在宅医の連携体制の成功例についてお話しいただく。	4月23日(土)※ 15時半～17時 病院3階大ホール	院長 白髭 豊 医療法人 白髭内科医院 認定NPO法人 長崎在宅Dr.ネット事務局長
L-3	3	身近な在宅支援診療の現状	現在、名古屋市緑区で精力的に在宅支援診療を行っている医師に在宅医療の実際と問題点についてお話しいただく。	4月28日	院長 姜琪鎬 みどり訪問診療所
D-1	5	Group discussion/在宅医療の方向性	地域で学生、専門職の多職種連携を成功させてきた吉村先生にグループディスカッションを繰り交えながらこれからの在宅医療の方向性についてお話しいただく。	5月19日	教授 吉村 学 宮崎大学医学部 地域医療・総合診療医学講座
L-5	6	地域における認知症対策(みまもりつながりノート)	アルツハイマー病の最大のリスクは加齢である。超高齢社会ではアルツハイマー病等の認知症を社会で見えていく必要がある。地域でいかにささえるか、認知症の概況と地域で出来ることを認知症ケアの第一人者にお話しいただく。	5月26日	講師 数井 裕光 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室
L-6	7	高齢者の褥瘡	褥瘡は在宅医療を必要とする高齢者に多い疾患であるとともに、多角的かつ包括的な取り組みが必要である。褥瘡の病態に基づき、医療と介護を連携させるための基本的な考え方を概説する。	6月2日	医長 磯貝 善蔵 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 先端診療部皮膚科
L-7	8	在宅における口腔ケア・嚥下評価の重要性	健康をささえる食事を受け入れる口腔・嚥下領域で地域・在宅での取り組みを精力的にされている歯科医より、その重要性和超高齢社会を迎える心構えを聞く。	6月9日	医長 野原 幹司 大阪大学歯学部附属病院 顎口腔機能治療部
L-8	9	超高齢社会における胃ろう管理	口から食事がとれなくなったらどうするか。胃ろうの是非はまだ議論のあるところであるが、一部の高齢者やその家族にとってはその選択で良好な状況を得られる場合もある。医療者にとって胃ろう管理は必要な知識であり、そのポイントを聞く。	6月16日	院長 蟹江 治郎 ふきあげ内科・胃腸科クリニック
D-2	10	Group discussion/地域と栄養教育	地域社会におけるレストラン経営と栄養教育について病理医でありながら糖質制限食のみで人気の食事を提供しランチタイムには栄養セミナーを交える異色経営者に今後の地域医療と外食についてグループ討論を交えて講義いただく。	6月23日	部長 川口 誠 新潟労災病院病理診断科
L-9	11	高齢者に対する栄養介入	高齢者で問題となっているフレイルの定義、その栄養介入の必要性をお話しいただく。	6月30日	教授 葛谷 雅文 名古屋大学 地域在宅医療学・老年科学教室
L-10	12	地域における住民調査/久山研究	日本の誇る久山研究の歴史、現状と今後の展望について認知症研究で久山研究に携わってこれた医師にお話しいただく。	7月7日	助教 小原 知之 九州大学大学院医学研究院 精神病態医学/環境医学
L-11	13	人文社会からみた地域医療と地域社会	兵庫県および東京都の都市と農村地区で地域住民を対象に社会科学的視点から疫学研究をされている立場で御講義いただく。	7月14日	准教授 榎藤 恭之 大阪大学人間科学研究科 臨床死生学・老年行動学講座
L-12	14	柏モデル	地域包括ケアの中心的モデルとして動いている千葉県柏市の在宅・地域医療を影で支える立場から日本のモデルとなっている地域の現状と問題点、今後の展望についてお話しいただく。	7月21日	准教授 飯島 勝矢 東京大学 高齢社会総合研究機構
D-3	15	Group discussion/まとめ	健康寿命の延伸に必要な事、加齢性疾患の克服で必要な事、これからの医療・介護体制に加えておくべきエッセンスについて参加者で考えたい。	7月28日	特任教授 赤津 裕康 名古屋市立大学大学院医学研究科 地域医療教育学

S: シミュレーション(実習)形式 L: 講義形式 D: 双方向議論形式